



な かい く に の す け

中井 國之助 氏

生年月日 明治 35 年 8 月 17 日生

住 所 田辺市江川榎瀨町

明治 35 年 (1902 年) 8 月 17 日、西牟婁郡田辺町 (現田辺市江川) に生まれる。

小学校を終了して以来、家業の漁業に取り組み、今日まで 60 年、ただひとすじ漁業振興のために挺身してきた偉大なる功労者で江川漁浦の育ての親である。常に「漁師のため」を心がけ、「港をよくしたい」と水産業振興にかけた情熱が江川漁業協同組合組合長から田辺漁業協同組合組合長、田辺湾漁業協同組合連合会会長そして和歌山県漁業協同組合連合会会長として指導的活動に花を開き、漁業界の発展と福祉の向上に大きく寄与した。

県中央漁業界における活動もさることながら、特に地域水産業振興に関しては、強力な指導力を発揮し、戦後燃油不足時における蓄電池の共同購入、共同修理、充電場の開設、共同浴場の建設、信用事業の実施、漁業共済事業の実施、製氷冷凍工場の建設、漁業協同組合合併と漁業構造改善事業の推進、漁港修築事業の推進等々、多岐にわたり絶大な力を注ぎ、本市のみならず水産業に携わる県民三万人の父と仰がれ、漁民の大きな支えとなっている。

また、日本水難救済会田辺救難所の所長等幹部として 35 年間率先して救助活動 (出動回数 52 回) を行い、生命の危険を顧みず、海上生活者の義務感を超越する使命感をいなく崇高な精神の持主である。

その他、保育所に対する援助、プール建設、海洋少年団に対する援助等健全な青少年の育成への基礎づくりにも力を注いだ。

(略 歴)

15 歳の時から、いわし飼取網漁業に従事したのをはじめとして、秋刀漁流網漁業、焚入網漁業に従事し、かつお、まぐろ漁業船漁労長を経て、焚入網漁業船、棒受網漁業船を経営

昭和 7 年 (1932 年) 10 月	江川浦漁業協同組合総代
昭和 17 年 (1942 年) 8 月	同組合理事
昭和 19 年 (1944 年) 8 月	江川漁業会理事
昭和 24 年 (1949 年) 5 月	江川漁業協同組合組合長

第 10 回 (昭和 54 年)

昭和 39 年 (1964 年) 10 月 田辺漁業協同組合組合長
昭和 24 年 (1949 年) 5 月 田辺湾漁業協同組合連合会会長
昭和 32 年 (1957 年) 5 月 和歌山県漁業協同組合連合会理事
昭和 41 年 (1966 年) 8 月 同連合会副会長
昭和 49 年 (1974 年) 1 月 同連合会会長

その他、公的機関の委員、公的団体の役員多数歴任

(受賞歴)

昭和 47 年 (1972 年) 勲五等瑞宝章

農林大臣表彰、水産庁長官表彰、和歌山県知事表彰 (4 回)、第五管区海上保安本部表彰 (4 回)、社団法人日本水難救済会表彰 (10 回)、大日本水産会長表彰ほか多数の表彰を受ける。

(著 書)

『漁業回顧録』、『漁界一途』